

(1) アリーナ建設（150億円）による建設期間中の経済波及効果

219億円 (建設による効果)

(2) アリーナ運営による経済波及効果

61億円 (建設による直接効果を除く)／年

※計算例 (Bリーグ、宿泊費(県外客))
 16千円×12.8万人×0.2(県外割合)
 = 409百万円→**4.1億円**

算定基礎となる消費額の内訳

利用区分	Bリーグ	コンサート	コンベンション	県民・市利用	合計
来場者/日 (年間累計)	4,000人 (12.8万人)	4,000人 (4.8万人)	4,000人 (14.4万人)	100~1,000人 (6.7万人)	
利用日数(本番)	32日	12日 (12公演)	36日	134日	年間来場者数 39万人
用途	単価/人	年間消費額			
入場料・グッズ	6千円	8.0億円	—	—	8.0億円
交通・飲食費等(県内客)	3千円	3.4億円	1.1億円	4.6億円	2.7億円
交通・飲食費等(県外客)	20千円	5.2億円	2.9億円	9.3億円	—
宿泊(県外客)	16千円	※4.1億円	1.5億円	4.7億円	—
スタッフ等	13千円	0.1億円	0.2億円	0.2億円	0.1億円
合計	—	20.8億円	5.7億円	18.8億円	2.8億円
					48.1億円

単価は利用区分ごとに異なる場合があるため、主な単価を記載している

算定の考え方

- ・単価は、スポーツマーケティング基礎調査やふくい桜マラソンアンケート結果等を引用
- ・Bリーグ来場者は県内客80%、県外客20%と設定（ブローウィンズ実績による）
- ・コンサート、コンベンションの来場者は県内客70%、県外客30%と設定（令和6年福井県観光客入込数）
- ・県民・市利用：平日スポーツ等利用75日（100人/日）、イベント利用59日（1,000人/日）

県民利用枠の考え方

項目	考え方		事業計画案公表時点(令和7年8月19日)
	単価	数量	金額 (税込)
使用料	メインアリーナ 他アリーナを参考に区分（スポーツ・スポーツ以外、商業・非商業、平日・土日祝）および単価を設定	115日（県民利用枠）使用・管理	81百万円
	サブアリーナ		
	諸 室 会議室、更衣室、医務室等の使用料 面積×m ² 単価（施設整備費や近隣施設等を考慮）	115日（県民利用枠）使用・管理	41百万円
	備 品 県民利用5種目（バスケ、バレー、バドミントン、フットサル、ハンドボール）（減価償却を基に設定）		
	倉 庫 上記備品の倉庫占有割合から（m ² 単価は諸室と同） 倉庫面積×占有割合×m ² 単価	通年使用（備品保管）・管理	
	映像・音響 設備の減価償却を基に設定	イベント・行事（40日）での使用・管理	
	光熱費 他アリーナを参考に設定	照明：115日 冷暖房：45日（セーレンアリーナの実績から推計）	17百万円
運営費	人件費 令和7年度標準人件費（指定管理施設の公募上限算定）から	4人（料金収納、県への納付、問い合わせ対応、警備等）	31百万円
	システム運用保守 広告料 県民利用枠の予約管理システム デジタルサイネージ等の館内広告 観光・イベント情報掲載	予約管理システム 通年 館内広告 115日 観光・イベント情報 通年	10百万円
合計			180百万円